

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

2026 年 6 月 24 日

郡山市長 殿



提出者

住 所 福島県郡山市字石塚111番地

氏 名 パナソニック インダストリー株式会社
郡山拠点 郡山工場

拠点長 平井 昌吾

電話番号 024-944-2870 (代表)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	パナソニック インダストリー株式会社 郡山拠点 郡山工場
事業場の所在地	福島県郡山市字石塚111番地
計画期間	2026年4月～2027年3月

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	1831 電気機械器具用プラスチック製品製造業
② 事業の規模	生産金額 57,607百万円 (2025年度)
③ 従業員数	535人 (2026年3月末日現在)
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 (1) 参照

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙 (2) 参照

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (2025 年度) 実績】				
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強アルカリ	強酸	廃石綿等
	排 出 量	121.85 t	0.5 t	9.33 t	0.23 t
	(これまでに実施した取組) 【引火性廃油】 ・生産工程にて、可能な限り溶剤を再々々使用などを実施				
②計画	【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強アルカリ	強酸	廃石綿等
	排 出 量	121.2 t	0.5 t	10.0 t	1.0 t
	(今後実施する予定の取組) 【引火性廃油】 ・処理業者を開拓し、今現在再資源化出来ていない物も再資源化へと移行したい 【強アルカリ】 【強酸】 【廃石綿等】 ・生産時効率の良い工法改善等により削減に努める				

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・引火性廃油を種類別に分別
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持で問題なし

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	— t	— t

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2025 年度）実績】				
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強アルカリ	強酸	廃石綿等
	全 処 理 委 託 量	121.85 t	0.5 t	9.33 t	0.23 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	121.85 t	0.5 t	9.33 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t	— t	— t
	(これまでに実施した取組)				
	【引火性廃油】 ・再生再資源化方向へ可能な物は移行				
	【強アルカリ】 【強酸】 【廃石綿等】 ・生産工法改善（より効率的な使用）				

(第5面)

②計画	【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強アルカリ	強酸	廃石綿等
	全 処 理 委 託 量	121.2 t	0.5 t	10.0 t	1.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	121.2 t	0.5 t	10.0 t	1.0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)				
	・ 処理業者を開拓し、今現在再資源化出来ていない物も 再資源化へと移行したい				
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（ 2025 年度）実績】				
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		131.91 t		
	(今後実施する予定の取組等)				
電子マニフェスト化 済					
※事務処理欄					

別紙(1)

①特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程

廃棄物名	引火性廃油	強アルカリ
発生工程	ブレンド・乾燥	プレマルチ内層処理
処理方法 処理業者にて	蒸留・混合エマルジョン化	中和

廃棄物名	強酸	廃石綿等
発生工程	プレマルチ内層処理	ダクトフランジパッキン
処理方法 処理業者にて	中和	固型化

別紙(2)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項
(管理体制図)

